

衆議院内閣委員会ニュース

平成 25. 5. 24 第 183 回国会第 14 号

5 月 24 日（金）、第 14 回の委員会が開かれました。

1 総合特別区域法の一部を改正する法律案（内閣提出第 39 号）

- ・原案及び修正案について、新藤国務大臣、寺田内閣府副大臣及び政府参考人並びに修正案提出者後藤祐一君（民主）に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・赤嶺政賢君（共産）が討論を行いました。
- ・修正案について採決を行った結果、賛成多数をもって可決されました。
（賛成—自民、民主、維新、公明、みんな、生活 反対—共産）
- ・修正部分を除く原案について採決を行った結果、賛成多数をもって可決され、本案は修正議決すべきものと決しました。
（賛成—自民、民主、維新、公明、みんな、生活 反対—共産）
- ・平口洋君外 4 名（自民、民主、維新、公明、みんな）から提出された附帯決議案について、大熊利昭君（みんな）から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、賛成多数をもってこれを付することに決しました。
（賛成—自民、民主、維新、公明、みんな、生活 反対—共産）

（質疑者及び主な質疑内容）

赤 嶺 政 賢 君（共産）

- ・沖縄振興特別措置法に規定する特別区域制度についての現状と総合特別区域制度の違いについて伺いたい。
- ・国際戦略総合特区に指定されているアジア No. 1 航空宇宙産業クラスター形成特区の概要について伺いたい。
- ・国際戦略総合特区の特例措置である工場立地に係る緑地規制の特例について伺いたい

村 上 史 好 君（生活）

- ・本法案が修正議決され成立した場合の効果及びメリット

について修正案提出者の見解を伺いたい。

- ・過去 10 年間で許認可等の総件数は 1.5 倍に推移しており、政府が進めている規制緩和には限界があるのではないか。本来的には、規制緩和ではなく規制撤廃といった大胆な取組みが必要と考えるが、政府の見解を伺いたい。
- ・国際戦略総合特区に指定されているアジアヘッドクォーター特区から提案の旅客不定期航路運送による乗合い運送の特例において鉄道、バス等の海上運送以外の事業者間との問題は生じないのか。その検討状況について伺いたい。

2 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律案（内閣提出第 69 号）

- ・森国務大臣から提案理由の説明を聴取しました。